

教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第40号 H31. 1.24

茨城県教育研修センター
教科教育課
☎0296-78-3213 (直通)



12/26 研究発表会 理科部会 を実施しました



研究主題:「これからの時代に求められる資質・能力を育成するための理科授業づくり」
—主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の改善を通して—

小・中・高の授業研究発表を行いました。

小学校第4学年「とじこめた空気や水」におけるこれからの時代に求められる授業づくり
下結城小学校 青木 千尋 教諭



育成を目指す資質・能力及び単元で働かせたい「見方・考え方」,「活用」する四つの視点を明確にした単元指導計画の作成は、教師の授業改善につながり、問題解決の過程を通じた学習指導がさらに充実し、児童が「見方・考え方」を働かせた深い学びにつなげることができました。

高等学校第1学年生物基礎「腎臓と肝臓による調節」におけるこれからの時代に求められる授業づくり
県立鉾田第一高等学校 星 浩一 教諭



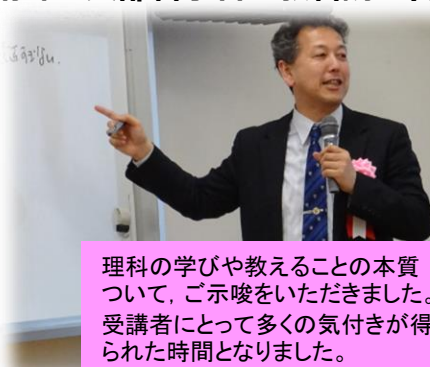
「見方・考え方」,「活用」の視点を明確に位置付けることで、教師側が意図的な発問や場面設定等の見直しをもって授業に臨むことができました。教師が示した手順の実験を進めるのではなく、生徒自らが設定した仮説をもとに実験計画を立案することができました。

中学校第3学年「化学変化とイオン」におけるこれからの時代に求められる授業づくり
秀峰筑波義務教育学校 浅倉 慈男 教諭



課題設定のための導入における学習指導の工夫は、身近な自然現象を分析して解釈することに有効であり、「分析・解釈」の視点における活用する力を育成するために有効でした。また、対話する場を設定し、学習指導を工夫することで、自分の考えを見直し、より妥当なものにしていくことができました。

講師：文部科学省 教科調査官 野内 頼一 先生



理科の学びや教えることの本質について、ご示唆をいただきました。受講者にとって多くの気づきを得られた時間となりました。

100名を超える参加者が学びを深めました。



高等学校第2学年物理「円運動と万有引力」におけるこれからの時代に求められる授業づくり
県立緑岡高等学校 坪 雄太 教諭



ファーストグループ、セカンドグループとメンバー構成を変えた段階的な話し合い活動を行ったことで、グループの全員が発言し、科学的な根拠を大切に話し合いを進めることができました。また、自ら疑問をもち、班員全員で共有できたことで、より深い議論を行うことができました。

参加者の感想

- 小・中・高の異校種の発表を聞くことができ、学びの系統性や連続性、資質・能力の育成について認識を深めることができました。(小学校教員)
- 普段の授業の中で生かすことのできる実践が多くあったので、授業に取り入れ、日々の実践に励みたいです。今回の発表で、発問の仕方や言葉かけの工夫により、生徒の思考が深まることを改めて知ることができました。(中学校教員)
- 小中の先生方の意見を聞かせていただき、小中の学習内容に繋がりの大切さに気づきました。既習の概念を新しい疑問に適用し、構想させるような授業を実践したいと思いました。教科書に載っている形式的な観察・実験で済ませがちでしたが、今日学んだことを実践してみようと思います。(高等学校教員)